

② 生成AI、どう関わる？

みなさんは生成AIについて知っていますか？ここ数年で急速に発展し、一気に利用者が拡大しました。生成AIを活用することで、文章をはじめ画像や映像等を誰でも簡単に制作することができます。

以下は生成AI(ChatGPT)によって作られた生成AIの説明です。



生成AIとは何か中学1年生でも分かるように150文字で説明してください。



生成AIは、文章や画像などを自動的に作り出す人工知能のことです。例えば、質問に応えたり、絵を描いたりすることができます。コンピューターにたくさんのデータを学習させて、そのデータをもとに新しいものを作り出します。

※ChatGPT(GPT-4)との実際の会話から抜粋

生成AIにプロンプト(指示)を入力すると、文脈に沿った回答が出力されます。高度な技術は必要なく、誰でも簡単に使うことができます。生成AIの普及によって、生活・学習・ビジネス等に大きな影響があると予想されます。

今後、よりいっそう生成AIの普及が進むと、社会はどのように変化していくのでしょうか？

※考えを他の人と共有し、話し合ってみましょう。

生成AIの学習利用

生成AIを学習に活用するということも考えられます。それにより、みなさんの学習を効率化させたり、新たな気づきにつながったりしていくなど、学習をより深めていくことが期待されます。しかし、その使用方法には注意が必要です。文部科学省は、学習への生成AIの利用について「適切でないと考えられる例」として以下のようなことを挙げています。

○各種コンクールの作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自分の成果物として応募・提出すること

○詩や俳句の創作、音楽・美術等の表現・鑑賞など、自分の感性や独創性を発揮すべき場面で、最初から安易に使うこと

○定期考査や小テストなどで使うこと

※文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」から一部抜粋・生徒向けの表現に一部改変



「課題を早く終わらせたいから」や「自分で考えるのが面倒くさいから」などといった安易な理由のみで生成AIを使用することは、みなさんの成長に繋がりません。その課題の意味や目的を理解し、何のために学ぶのかをみなさん自身が意識することが重要になってきます。

また、生成AIが作り出した文章や画像等が、いつも正しいものとは限りません。生成されたものが他者の著作権を侵害している可能性もあります。生成AIは便利なツールですが、それを上手く正しく活用するためにはこれまで以上に法律や人権に対する知識が求められます。併せて、生成AIの利用規約(年齢制限や保護者同意)を守る必要があります。

何より、生成AIが普及していくこれからの時代だからこそ、みなさん自身が主体的に考え・判断する能力が必要になってくるのではないのでしょうか。

<参考>

(a) 厚生労働省「ゲーム依存対策関係者連絡会議」

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syougai_141301_00001.html

(b) 総務省「上手にネットと付き合おう 安心安全なインターネット利用ガイド」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/fakenews/

(c) NHK NEWS WEB「地震後 SNSに偽「救助要請」多数 収益目的「インプ稼ぎ」か」

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240104/k10014309591000.html>

(d) 文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」

https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf



(a)



(b)



(c)



(d)

(最終アクセス:2024年6月24日)